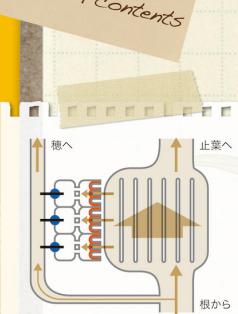


植物ストレス学グループ

Plant Stress Physiology Group

研究内容 Research contents

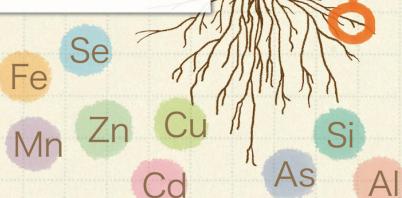
安定多収、安心・安全の作物生産に貢献する ミネラルストレス研究



節は栄養分を種子へ配分する非常に重要な器官です。節で発現する各種輸送体の特定を行っています。

有害金属耐性付与による環境浄化植物の作出へ！

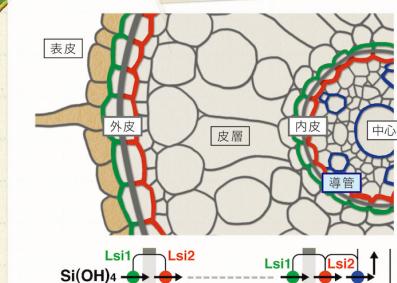
根から吸収された有害なミネラルは葉細胞の液胞に隔離されて無毒化されます。この無毒化に関わるトランスポーターの同定も進めています。



主な論文 Research papers

- Nature 440:** 688-691 (2006)
A silicon transporter in rice.
- Nature 448:** 209-211 (2007)
An efflux transporter of silicon in rice.
- Proc Natl Acad Sci USA 105:** 9931-9935 (2008)
Transporters of arsenite in rice and their role in arsenic accumulation in rice grain.
- Proc Natl Acad Sci USA 107:** 18381-18385 (2010)
Plasma membrane-localized transporter for aluminum in rice.
- Proc Natl Acad Sci USA 107:** 16500-16504 (2010)
Gene limiting cadmium accumulation in rice.
- Nature Communications 3:** 713 (2012)
Acquisition of aluminum tolerance by modification of a single gene in barley.
- Nature Communications 4:** 2442 (2013)
A node-based switch for preferential distribution of manganese in rice.
- Proc Natl Acad Sci USA 111:** 15699-15704 (2014)
A rice ABC transporter, OsABCC1 reduces arsenic accumulation in the grain.
- Proc Natl Acad Sci USA 112:** 11401-11406 (2015)
Orchestration of three transporters and distinct vascular structures in node for intervascular transfer of silicon in rice.
- Nature 541:** 92-95 (2017)
Reducing phosphorus accumulation in rice grain with an impaired transporter in the node.

植物は動物のように移動できないため、環境から受ける様々なストレスに遭遇しており、それらのストレスを克服してはじめて生育することができます。私たちの研究室では、植物が受ける様々なストレスのうち、栄養不足や有害金属の過剰などを含むミネラルストレスに対する植物が持つ耐性機構の解明に取り組んでいます。特に、植物がどのようにして生育に必要な栄養分を獲得し、各器官へ輸送するか、また有害な金属をいかにして無毒化するかについて圃場レベルから遺伝子レベルまで研究を行っています。



効率よい養分吸収システムの構築と有害金属吸収の制御へ！

根の養分吸収や、有害金属の無毒化に関する輸送体の同定を行っています。その一例としてイネの安定多収に欠かせないケイ酸の輸送体 Lsi1 と Lsi2 を同定しました。Lsi1 と Lsi2 はイネの根の同じ細胞層（外皮と内皮）に発現しますが、Lsi1 は遠心側に局在し、外から細胞内へのケイ酸の取り込み、Lsi2 は向心側に局在し、細胞内のケイ酸の排出を担います。この二つのトランスポーターの働きで、効率よくケイ酸を植物内に取り込みます。

TOPIC1

コメのカドミウム蓄積を抑制する遺伝子を同定しました。

TOPIC2

ピカピカキュウリの謎を解きました。

TOPIC3

ヒ素の吸収の仕組みを明らかにしました。

TOPIC4

アルミニウム輸送体を同定しました。

Members 〈研究室メンバー〉



岡山大学 資源植物科学研究所

教授

馬 建鋒

Jian Feng Ma



准教授
山地 直樹
Naoki Yamaji



准教授
三谷 奈見季
Namiki Mitanu



助教
横正 健剛
Kengo Yokosho

